2009年度著書·論文等目録

沢田正子

「源氏物語の感情表出の方途」. 森一郎・岩佐美代子・坂本共展編. 『源氏物語の展望』. 第五輯, 三弥井書店, 2009年3月, p. 49-85.

『源氏物語の祈り』. 笠間書院, 2010年1月, 660p.

川 島 美奈子

「生協組合員に関する先行研究の整理」、『生活協同組合研究』、No. 407, 2009. 12, p. 45-58。 「転換期以降の生協組合員政策:組織政策と商品政策の変化」、『第29回日本協同組合学会個別報告』、2009.

加藤良徳

『スキルアップ! 日本語力 大学生のための日本語練習帳』. 加藤良徳ほか著,東京,東京書籍,2009,112p. 「作文支援システムTEachOtherSの運用と成果分析」. 加藤良徳ほか著,『名古屋学院大学紀要;言語・文化』.21(1),2009, p. 43-54.

日 比 優 子

「高齢者の注意・ワーキングメモリ・遂行機能と認知的インターフェイス」、『心理学評論』、vol. 52 (3), 2009, p. 363-378. (共著)

佐々木 光 郎

「戦前昭和期の少年教護実践における「行事」」. 『東北社会福祉史研究』. 第27号, 2009年3月, p. 27-50 (単著)「子どもたちの豊かな育ち」. 須永和宏編著. 『子どもを救う「家庭力」』. 慶応義塾大学出版会, 2009年12月, p. 47-80 (分担執筆)

「あとがき」、須永和宏編著、『子どもを救う「家庭力」』、慶応義塾大学出版会、2009年12月, p. 253-255 (分担執筆) 「青少年の薬物汚染が進んでいるって本当なの」、教育開発研究所編、『教育の最新事情がよくわかる本』、2009年7月, p. 58-60 (単著)

「非行の予防学③-予防的な家族支援-」. 『月刊少年育成』. 第634号, 2009年1月, p. 50-55(単著)

「非行の予防学④-食事の風景-」. 『月刊少年育成』. 第635号, 2009年2月, p. 52-57(単著)

「気になる親の生態学-親とのかかわり-」. 『月刊生徒指導』. 第39巻第3号,2009年2月号,p.68-71(単著)

「子どもの人権をめぐる諸問題」. 『人権のひろば』. 第66号, 2009年3月, p. 13-16 (単著)

「安心感のある家庭-「キレない」子どもを育む-」. 『わたしは消費者』. 第115号, 2009年 3 月, p. 4-6(単著)

「非行の予防学⑤-父親の役割-」. 『月刊少年育成』. 第636号, 2009年 3 月, p. 52-57(単著)

「気になる親の生態学–親とのかかわり②-」. 『月刊生徒指導』 第39巻第 4 号, 2009年 3 月号, p. 56-59(単著)

「非行の予防学⑥-表現のカー」. 『月刊少年育成』. 第637号, 2009年 4 月, p. 54-59(単著)

「非行の予防学(?)-からだづくり-」. 『月刊少年育成』. 第638号, 2009年 5月, p. 54-59(単著)

「非行の予防学®-家族のかたち-」. 『月刊少年育成』. 第639号, 2009年 6月, p. 54-59 (単著)

「児童・生徒への懲戒」「教師による体罰」「性行不良による出席停止」「いじめ」. 『全国学校管理職選考・直前要点整理』. 2009年7月, p. 301-315(編集協力)

「非行の予防学⑨-ステップファミリーの知恵-」. 『月刊少年育成』. 第640号, 2009年7月, p. 56-61(単著)

「改正児童福祉法等について」. 『人権のひろば』. 第68号, 2009年7月, p. 4-6 (単著)

「非行の予防学⑩-住まいと非行-」. 『月刊少年育成』. 第641号, 2009年8月, p. 54-59 (単著)

「非行の予防学⑪-住まいと非行②-」. 『月刊少年育成』. 第642号, 2009年9月, p. 54-59(単著)

「子どもの変化-情報の読み方・対応のヒント」. 『学校マネジメント』. 第635号, 2009年10月号, p. 16-17 (単著)

「非行の予防学⑫-親のつきあいと非行-」. 『月刊少年育成』. 第643号, 2009年10月, p. 54-59(単著)

「非行の予防学®-部活動と非行-」. 『月刊少年育成』. 第644号, 2009年11月, p. 54-59(単著)

「非行の予防学⑭-友だちとの関係と非行-」. 『月刊少年育成』. 第645号, 2009年12月, p. 54-59(単著)

「非行の予防学⑮-友だちとの関係と非行2-」. 『月刊少年育成』. 第646号, 2010年 1 月, p. 48-53 (単著)

大 島 道 子

「第8章 障がいのある人の福祉」、稲葉光彦ほか著、『社会福祉を学ぶ』、みらい、2010年3月 大島道子・小沼肇・志田倫子共同執筆、『平成21年度静岡県社会福祉系大学・短大・専門学校生に対する就労に関する 意識調査報告書』、静岡県社会福祉協議会・静岡県社会福祉人材センター、2009.

中原陽三

「指静脈認証を用いた出席確認システムの評価」. 『マルチメディア, 分散, 協調とモバイル (DICOMO2009) シンポジウム論文集』(情報処理学会). 2009年7月, p. 1685-1692 (共著).

「区間の大小関係に関する測度についての一考察」、『多値論理研究ノート』(多値論理研究会)、第32巻、第4号、2009年9月、 $p.4-1\sim4-5$ (単著)、

「演繹とファジィ推論についての考察」.『日本知能情報ファジィ学会 評価問題研究部会 第14回曖昧な気持ちに挑む

ワークショップ講演論文集』. 2009年11月, p. 45-47 (単著).

「記憶と意識に関する人間の情報処理のモデルの提案」、『システム・情報部門学術講演会2009講演論文集』((社) 計測自動制御学会 システム・情報部門). 2009年11月, p. 242-245 (単著).

白 山 靖 彦

「障害者自立支援法と福祉サービス」. 菊池智子・白山靖彦ほか編,『ケアマネ便利帳』. 日総研出版, 2009年, p. 236-286 (編集・共著)

『介護支援専門員速習テキスト』. 日総研出版, 2009年, 総189頁 (単著)

『2010カリキュラム対応社会福祉士試験対策超直前短期集中テキスト』. 日総研出版, 2009年, p. 2-11、p. 40-50 (監修・共著)

「「高次脳機能障害」という用語の二重性」、『静岡英和学院大学紀要』、第7号、2009年、p. 177-183(単著)

「大学教育における社会福祉養成の戦略と実践介入の方法における一検討」、『静岡英和学院大学紀要』、第7号, 2009年、p. 281-287(共著)

「保育所保育の質の向上を目指すコンサルテーション試行」、『静岡英和学院大学紀要』、第7号,2009年,p.269-279 (共業)

「高次脳機能障害における社会的行動障害が家族に与える影響」。『第17回職業リハビリテーション研究会発表論文集』。 2009年、p168-169 (単著)

「合理的配慮による福祉社会の実現について」. 日本職業リハビリテーション学会中部部会発行『TUBE』. 59号, 2009年, 巻頭言

橋 本 勝

「社会科学の役割について」. 『東洋』. 第46巻, 第6号, 2009年9月, p.4-6.

鍋谷 照

「ネパール丘陵地農村地帯の青少年の日常生活における歩数および心拍数」、九州大学発行、『健康科学』、第32巻、2009 (印刷中)

山 田 美代子

「光トポグラフィ装置による1人歌唱と2人歌唱時の脳血流量の変化」、『リハビリテーション科学ジャーナル』、Vol. 4、2008、p39-48.

「作業療法の臨床活動で用いられている「遊び・余暇的活動」-作業療法白書2005より-」. 『日本作業療法教育研究会』. Vol.9, No.1, 2009, p13-19

芦澤久江

シャーロット・ブロンテ著. 中岡洋・芦沢久江訳. 『シャーロット・ブロンテ書簡集』. 彩流社, 2009年6月. クリスティーン・アレグザンダー、ジュリエット・マクマスター編. 芦沢久江・杉村藍監訳. 『子どもが描く世界』. 彩流社, 2009年12月.

磯 部 隆

『よりよく生きるための心理学』 静岡学術出版,2010年(単著)

「一般意味論からみた選択理論と現実療法の概念に関する一考察」、『静岡英和学院大学 紀要』、第8号,2010年3月「解決志向を取り入れたTAカウンセリングの方法論についての一考察」、『日本交流分析協会 21年度 論文集』、2010年1月

窪 田 健 一

「情報伝達に関する基礎的研究における資料等の検討」、『パーソナルコンピュータ利用技術学会論文誌』、第 3 巻,第 1 号,2009年 3 月,p. 33–37(共著)、

「インターネットでコミュニケーション能力は養われるか」、『教育システム情報学会第34回全国大会講演論文集』、2009年8月(共著)

「情報化と教育環境の影響分析」、『教育システム情報学会第34回全国大会講演論文集』、2009年8月(共著)、

堀 江 信 之

Kaji, K., Ohta, T., Horie, N., Naru, E., Hasegawa, M., Kanda, N., "Donor age Reflects the Replicative Lifespan of Human Fibroblasts in Culture", *Human Cell*, 22, 38-42 (2009)